

ウガンダ、ぜひとも行きたい旅

問合せ先 自治振興課



「アフリカの真珠」という呼び名は、イギリスの偉人であり当時植民地担当長官であったウィンストン・チャーチル卿が1908年に出版された「私のアフリカ旅行」でウガンダに与えた称号で、ウガンダの壮大さと豊かな生命力の一端を表しています。今回は、この偉大な宝物であるウガンダの簡単なガイドと、みなさんが興味を持たれるであろう素晴らしい景観を紹介したいと思います。

【ウガンダへの行き方】 アフリカ大陸の東側に位置するウガンダは、野生動物、家畜、水、森、山など、豊かな自然に恵まれた国です。ウガンダの主要な入国地であるエンテベ国際空港は、関西国際空港から約11,167km離れた場所にあります。大阪からウガンダに行くには多くのルートがありますが、いずれも直行便ではありません。疲れるからと、がっかりしないでください。ウガンダでのホスピタリティにあふれた体験は、これまでにないリフレッシュになることでしょう。

関西国際空港を出発し、ドバイ国際空港で乗り継いでエンテベ国際空港に到着、フライトに約16時間、乗継に5時間というのが最も便利なルートです。

【カルマ滝】 世界最長の川「ナイル川」にあるカルマ滝を簡単に紹介しましょう。

カルマ滝は、北ウガンダで最も素晴らしい観光スポットの一つです。滝の名前はルオ族の言葉で「偉大な霊」を意味するものに由来すると考えられています。地元の人々は、カルマ滝の白い水は、この地域に住む精霊が岩を並べてできたものだと思っています。カルマ滝はナイル川の上を走るカンパラ-グルハイウェイ沿いにあります。マシディ地区から北東へ約97km、グル地区から南へ約77kmのところですよ。



▲カルマ滝



▲国際交流員の
エマニュエル・
オチョラ

見る者を圧倒するカルマ滝はマーチソン滝国立公園（ウガンダ最大の自然動物保護公園）の東側境界に位置し、ウガンダ北西部のグル地区から車でわずか1時間のところにあります。この滝周辺の公園は、鳥、水牛、サル、ライオン、ヒヒ、ゾウ、ヒョウ、キリン、アンテロープにコーブ（ともにウシ科）など多様性に富んでいます。

ありがとうございました。

今月のアチョリ語
Motoka (モトカ) : 自動車
Pikipiki (ピキピキ) : オートバイ
Lela (レラ) : 自転車



◀カルマブリッジ

泉佐野市人権擁護委員

問合せ先 人権推進課

人権擁護委員は法務大臣から委嘱され活動しています。人権擁護委員は地元で暮らす市民です。市民のみなさんからの人権に関する相談を聞いたり、人権についての啓発活動を行っています。

【人権教室】

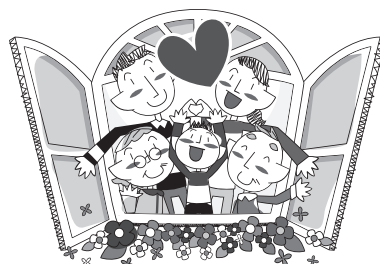
主に小学3年生を対象に各学校などに人権擁護委員が出向き人権教室を行っています。アニメ作品を見て、「いじめ」について児童のみんなと一緒に考え、楽しく学べる教室です。

【人権相談】

人権に関する悩みについて人権擁護委員が相談に応じます。一人で悩まずに、誰でも気軽に相談してください。

日時 毎月第3月曜日（祝日の場合は第3火曜日）
午後1時30分～4時

場所 市役所内の会議室
※申込不要、相談無料



じんけんひろば
人権の広場